

(表紙)

「 懷中鏡(一)

深井家文書 「

はじめに

懷中鏡(一)は七代目浅右衛門喜次の覚書で、文久三年(一八六三)から明治二年(一八六九)までのものです。

内容は「諸鑑」に同じく助郷・用水・年貢関係とその他です。

記録の中には軍資金割り当てのものが見られ幕末動乱期の一端がうかがえます。

慶応三年(一八六七)大政奉還により旗本領であった村は新政府に接収されそれに伴う諸手続きなども見られます。

懷中鏡は旧幕府から新政府へ移り変わる歴史の証とも言えるでしょう。

浅右衛門喜次の略歴

文化十二年(一八一五)『清地村』に生まれる。

弘化年中(一八四四〜四七)『清地村』の地頭酒井家の名主五ヶ村取締役となる。

安政年中(一八五四〜五九)酒井家の六十俵代官格となる。

文久年中(一八六一〜六三)杉戸宿の助郷惣代を勤める。

慶応元年(一八六五)五月第二次長州征伐、將軍家茂御進發酒井安房守御供仰せ付けられる。

喜次酒井家江戸詰めを仰せ付けられる。

〓 二年七月喜次上坂(大坂へ)仰せ付けられる。

〓 八月幕府軍やぶれる。

〓 十月喜次安房守一行とともに帰府。

〓 三年十月大政奉還により徳川幕府滅びる。  
新政府のもと名主を勤め後戸長となる。

明治十八年(一八八五)没 享年七十才。

## 目次

はじめに

懷中鏡

議定証文之事(助郷)

日光道中杉戸宿助郷村

差上一札之事

杉戸宿助郷式拾三ヶ村

御定人馬賃錢控杉戸宿

大加助郷村

問屋帳出し

差上申御請書之事

六倍五分増杉戸宿分

日光道中助郷村々高訳

古利根川土橋組合

権現堂川通堤水防人足

南側用水路村内浚丁場

上下並株中三租目安

杉戸宿御伝馬勤高

清地村納辻御割出

高訳並反取分之事

五ヶ村之事

御知行国々村高

差上候御請書之事

酒井家系図之写し

当丑年近村田方検見

慶応二年年始

一札之事 (質屋)

慶応三年年始

乍恐以書付奉申上候 (中間)

〃 (兵賦金)

御取箇之覺

乍恐以書付御受奉申上候 (兵賦)

辰分暮納

御法会二付

慶応四年年始

差上申御請書之事

酒造鑑札

葛飾郡八ヶ領

社寺調へ

細川中将様御内

乍恐以書付奉申上候

清地村株中

三役之事

覚

酒井安房守上知

三宅三郎 〃

高田釵之助 〃

能勢省兵衛 〃

御水帳面式年寄

御定免切替順

乍恐以書付奉嘆願候 (酒井分)

上下御検見

南側筑口分水組合高

酒造役之事

おわりに

(表紙)

「 懐中鏡 」

(裏表紙)

「 文久三癸亥年

極月嘉辰

深井喜次

### 議定証文之事

今般宿助郷為御取締道中

御奉行所様より被為 仰付候御触書之趣承知奉畏候依之助郷取之儀左ニ被 仰聞

致承知候

一宿人馬式拾人馬式拾五疋内五人五疋急御用困置残式拾人式拾疋立扨其余ハ助郷ニ而

引受御差支無之様御継立可仕事

一助郷より見届惣代三人宛差出日々御先触之趣致承知助郷村々より人馬触出可申仕事

一出人馬之儀是迄置不余有之候助郷惣代之もの差出其上ニ致相勤候処以来ハ急度正人

馬指出御差支無之様可仕候尤無様病人病馬等出来ニ相成候分ハ惣代之ものより雇

出相勤可申候事

一助郷人馬当番之儀御先触を考へ見込触無之候随分勘弁可仕候得共御先触無之御通行

之御方御座候得共風雨成ハ御通當リ候時節者御触無之分見込ニ而触当候儀茂可有之儀ニ候得共見届惣代罷成候上者問屋中より御差函を以惣代より助郷人馬触いたし継立残人馬有之候か又ハ不足ニ有之候上も惣代引受継立候而日払差引帳面仕立致速ニ遣払江差繰置不及無之様可仕然上ハ助郷触当之儀二三ヶ月間之会合いたし甲乙無之様差引可申候事

一大御通り之節ハ惣代三人ニ而ハ人馬遣方行届不申候ニ付御通り様之御差函次第相増何様ニも御差支無之様可仕候事

一日ハ帳仕立方並触出遣方之儀惣代差出見届対談上取ハ候ハ村々より右一件之儀何如ニ御取斗被成候共少茂難詰ケ間敷儀申間敷候事  
右ヶ条之趣を以議定いたし候上ハ末々ニ茂失礼申間敷候為後証取ハ印形依而如件

天明七未年三月

上堤根村

名主 五左衛門

堤根村

名主 喜左衛門

右二ヶ村惣代

清次郎

佐左衛門村

名主 藤左衛門

右村惣代

清次郎

倉松村

名主 新藏

右惣代

下高野村

名主 彦右衛門

遠野村

名主 勘左衛門

安戸村

名主 重藏

大島村

名主 吉右衛門

茨島村

年寄 佐左衛門

上戸村

年寄 三郎兵衛

吉野村

年寄 孫八

下野村

名主 定七

右八ヶ村惣代

蓮谷村

名主 平左衛門

年寄 傳左衛門

中島村

年寄 長五郎

中村

名主 新右衛門

百間村

年寄 浅右衛門

桑原村(東)

名主 幸右衛門

西桑原村

名主 安兵衛

須賀村

右七ヶ村惣代

須賀村

名主 甚右衛門

百間村 門之丞  
 名主 門之丞  
 〃 清五郎  
 才羽村 織右衛門  
 名主代 彌惣次  
 右惣代 蓮沼村  
 蓮沼村 名主代  
 名主代 源兵衛  
 年寄 弥七  
 百姓代 大塚村  
 大塚村 兵藏  
 名主代 彦四郎  
 年寄 五左衛門  
 並塚村 名主  
 右三ヶ村惣代 惣九郎  
 並塚村 惣九郎  
 清地村 源左衛門  
 年寄 門之丞  
 右村惣代 門之丞  
 百間村

未三月

堤根村

清次郎

百間村

門之丞

須賀村

清五郎

日光道中杉戸宿定助郷貳拾三ヶ村

全 高 壹万三千七百六拾四石

此 訳

池田播磨守知行所

武州埼玉郡

中村

同 知行所

中島村

堀田嶋之丞領分

森川肥後守知行所

松波恒太郎知行所

同州同郡

百間村

堀田嶋之丞領分

同州同郡

蓮谷村

池田播磨守知行所

永井兼之助知行所

小笠原鎚太郎知行所

武州埼玉郡

一高百貳石

一高八百六拾貳石

一高二百拾六石

一高二百八拾石

前書之通惣代罷成候儀ニ御座候得とも不殘詰居而ハ困窮之上諸雜用茂相掛リ難儀御座  
 候間拙者共申合兩三人而能詰居触出見届日ハ帳印形等仕候ニ付御聞届可被下候尤大御  
 通之節ハ不殘罷成可申候然上ハ日ハ帳印形兩三人ニ而貳拾四ヶ村引請候儀ニ御座候間  
 何方よりも難詰ケ間敷儀ハ無御座候為念依而如件

一高八百三拾三石

須賀村

一ツ橋 領分

同州同郡

一高四百貳拾四石

西条原村

堀田嶋之丞領分

敦美九郎兵衛知行所

細井宗左衛門知行所

同州同郡

一高三百九拾四石

東条原村

一高二百四拾七石

酒井緑四郎知行所

一高百四拾四石

三宅近之助知行所

一高百四拾四石

能勢省兵衛知行所

(朱書)

「一高百四拾四石

高田虎之助知行所

武州葛飾郡

清地村

全高七百七拾九石

「一高百八拾五石

一高百八拾五石

一高百八拾五石

前島太郎左衛門知行所

同州同郡

全高五百五拾八石

一高千九百三拾貳石

松村忠四郎代官所

(朱書)

「一高貳百九拾六石

一高三百拾五石三斗

織右衛門組

一高六百四拾四石

傳右衛門組

平岡石見守知行所

全高貳千五百七拾七石

同州同郡

(朱書)

堤根村

松下隣之助知行所

同州同郡

一高三百三拾石

蓮沼村

松村忠四郎代官所

松下隣之助知行所

觀世新三郎給地

武州葛飾郡

一高三百九拾九石

大塚村

一高二百六拾四石五斗

松村忠四郎代官所

一高二百五拾九石三斗

松下隣之助知行所

(朱書)

「内三百八拾七石二斗

小左衛門組

文右衛門組

一高百貳拾九石六斗

酒井緑四郎知行所

一高百貳拾九石

柘植傳太郎知行所

同州同郡

全高七百七拾七石

才羽村

(朱書)

「二高千四拾八石

松村忠四郎代官所

同州同郡

佐左衛門村

(朱書)

「

松村忠四郎代官所

柘植傳太郎知行所

松浦伊三郎知行所

一高七百四拾貳石

同州同郡

並塚村

「一高六拾六石三斗 平岡石見守知行所」

一高六拾六石三斗 小出菊太郎知行所

一高六拾六石三斗 猪子左太夫知行所

一高六拾六石三斗 松村弥寿之進知行所

一高六拾六石三斗 岡野口吉郎知行所

同州同郡

全高三百三拾壹石

遠野村

(朱書)

「一高四百貳拾九石 大久保荒之助知行所」

同州同郡

茨島村

小堀口太郎知行所

島田権三郎知行所

牛込恒次郎知行所

武州葛飾郡

一高六百四拾三石

安戸村

三宅鉄五郎知行所

竹本兵衛知行所

森川鎌太郎知行所

同州同郡

上戸村

(朱書)

「一高百三拾八石 山高弾正知行所」

一高百七拾四石 鈴木銀次郎知行所

同州同郡

全高六百四拾三石 (正三二二石) 下野村

松村忠四郎代官所

小出菊太郎知行所

岡野口吉郎知行所

猪子佐太夫知行所

松波弥寿之進知行所

同州同郡

一高貳百六拾五石

吉野村

一高百拾貳石

三宅鉄五郎知行所

(朱書)

「一高百拾貳石

森川鎌太郎知行所」

同州同郡

全高貳百貳拾四石

大島村

(朱書)

「一高貳百六拾九石七斗

前島太郎左衛門知行所

一高貳百六拾九石七斗

天野帶刀知行所

一高貳百六拾九石七斗

青沼鑑之助知行所」

同州同郡

全高八百九石

下高野村

全高壹万三千七百六拾四石

村数貳拾三ヶ村

(朱書)

「一右前書之分不殘今般仰付分二掛リ候得共右前書之内

一高四千百三拾四石貳斗

虎之助知行分清地村

倉松村

堤根村

才羽村

並塚村 佐左衛門村

右村々ハ勘定合並宿方困人馬之儀ニモ被 仰付申可仕分ニ御座候

石見守知行所分

遠野村

彈正知行所分

下野村

一高千五百五拾四石三斗

茨島村

鎌太郎知行所分

大島村

下高野村

右村々ハ助郷惣代之者へ相掛勘定合等之儀被 仰付申候儀ニ無御座是迄立会之通

出残余取調不残濟方ニ相成宿方困人馬之儀ニ被 仰付分へ被組込候儀ニ御座候

中島村

中村

百間村

蓮谷村

須賀村

東条原村

西条原村

緑四郎 近之進 省兵衛知行分

清地村

蓮沼村

大塚村

菊太郎 左太夫 弥寿太郎

遠野村

安戸村

上戸村

下野村

吉野村

大島村

才羽村

堤根村

右前書之村々ハ勘定ハ勿論宿方困人馬等之儀仕来通ニ而聊申分無御座候

文久三亥年十二月

御奉行所様

御傳馬勤高

堤根古附株之高訳ケ

一高六百式拾三石壹斗三升

一高三百五拾壹石五斗八升

一高三百拾三石三斗八升

外二五石九斗式升私領倉村高

一高式百九拾六石七斗壹升

外二六拾四石壹斗四升私領倉村高式石

一高式百式拾五石五斗三升

一高百式拾石四斗五升

外二壹石八斗六合

是ハ御料高源内株ニ掛リ高

差上一札之事

今般日光

御法会ニ付社参御通行毎二付人馬御差配として各々様方御出役御用中私共下役被

仰付候間諸事御差函請負実ニ相勤御通行之向ハ勿論宿村江不作法之儀無之様可仕候

被 仰渡承知奉畏候仍御証文差上申処如件

清地村

名主 浅右衛門

百間村

名主 清輔

安戸村

名主 又右衛門

右代惣

元治二五年三月十一日

浅右衛門印

清輔印

松村忠四郎様御手附

増田傳八郎様

右杉戸宿弥之助殿宅ニ於テ被 仰付候

三月二十三日より仮役相勤

御出役 中村常八様

山口源三様

下役

安戸村

名主 知久又右衛門

百間村

名主 折原清輔

清地村

名主 深井浅右衛門

一同宿方休泊ニ相成家持並人足詰小屋等見分何れも羽織帯刀ニ而御案内致候

三月二十三日

金八百両 □□

〃七百六拾五両三分 永百五拾文

杉戸宿方へ御下ケニ相成

右新町名主弥之助殿方へ預リ

内三拾両 宿方へ手当

三拾両 人足小屋御下ケ金

「粕壁宿出役 松村忠四郎様御手代

長沢甲子治郎様

藤沢守平様

平塚儀三郎様

┌

元禄九子年大助郷唱候其後享保八卯年定助郷ニ改被 仰付候初ハ式拾ケ村有之助郷

帳ハ問屋長左衛門方へ預ケ置 当川低し

助郷惣高

一高壹万三千七百六拾四石

杉戸宿御伝馬助郷式拾三ケ村

葛飾郡下郷

清地村

倉松村

才羽村

並塚村

蓮沼村

大塚村

上堤根村

堤根本村

佐左衛門村

新田

合高七千貳百拾石

内百拾石

一高四百貳拾九石

葛飾郡中郷

茨島村



一高三百三拾壹石  
一高六百四拾三石  
一高貳百三拾石  
一高貳百六拾五石  
一高貳百貳拾四石  
一高八百九石  
一高三百拾貳石  
合高三千貳百四拾三石

遠野村  
安戸村  
上戸村  
吉野村  
大島村  
下高野村  
下野村

埼玉郡向領

一高百貳石  
一高八百三拾三石  
一高八百拾八石

蓮谷村  
須賀村

内三百九拾四石  
四百貳拾四石  
一高三百拾六石  
一高八百六拾貳石  
内三百拾六石  
一高三百八拾石  
合高三千三百拾壹石

東条原村  
西条原村  
中島村  
百間村  
本村  
中村

御定人馬賃錢控

杉戸宿

元賃錢壹里二付  
人足壹人  
本場壹疋  
輕尻壹疋

貳拾文  
四拾文  
貳拾七文

粕壁宿へ壹里半三丁

元賃錢

一人足壹人  
一本馬壹疋  
一輕尻壹疋

七倍五分増  
貳百三拾文  
四百六拾三文  
三百八文

幸手宿へ道法壹里半七丁

元賃錢

一人足壹人  
一本馬壹疋  
一輕尻壹疋  
壹割五分増

七倍五分増  
貳百六拾三文  
五百拾文  
三百四拾五文  
先二有之

粕壁宿へ

人足壹人  
本馬壹疋  
輕尻壹疋

割口三文  
〃 五文  
〃 四文

同宿へ御雇賃錢

人足壹人  
馬 壹疋

百五拾六文  
貳百八拾六文

馬 壹疋

是ハ雇相對馬賃錢

人足壹人  
是ハ千住宿より触有之様御趣意

幸手宿へ

人足老人 四拾文 割口三文  
本馬老疋 七拾八文 〃 六文  
輕尻老疋 五拾三文 〃 四文

同宿へ御雇賃銭

人足老人 百六拾四文  
馬 老疋 三百拾文

馬 老疋 三百三拾八文  
是ハ相對雇馬賃銭

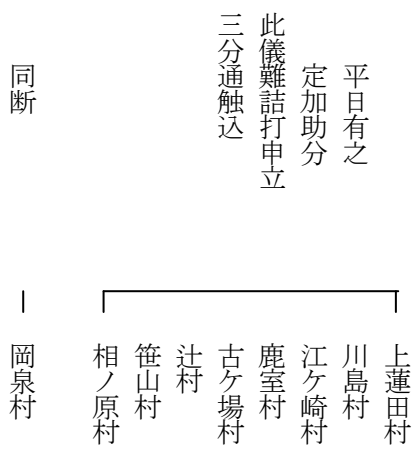
人足老人 貳百五文  
是ハ千住宿より触有之

(大加助郷村)

日光

御法会ニ付定助郷並大加助郷村々江御繼立御雇被 仰付候村々左ニ

武州埼玉郡



取斗口先ツ三分通触込

篠津村  
大島新田

下総葛飾郡

取斗五分

神間村  
塚崎村

上、下木津内村

〃 三分  
〃 五分位

榎村

立野村

宮前村

花島村

椿村

下金崎村

上金崎村

西金野井村

目吹村

吉春村

船形村

木野崎村  
三ツ堀村  
岩名村  
清水村

人足斗

一高五百六拾石  
内貳百八拾石

一高五百石

内五石四升五合  
貳百四拾七石貳斗五升

一高四百貳拾石

内貳百拾石

谷津村  
次木村  
上平野村

人足斗

尾崎村

早追昼

一高五百式拾石

内式百六拾石

但取斗五分通  
岩槻宿へ勤

下蓮田村

一本馬老疋  
一輕尻老疋  
一人足老疋

百式拾文

七拾文

六拾三文

当宿除

西宝珠花村

幸手宿へ夜通し

井沼村

一本馬老疋

百三拾式文

深輪村

一輕尻老疋

七拾三文

倉常村

一人足老疋

八拾文

芦橋村

鷺ノ巢村

同宿へ夜早追

永沼村

一本馬老疋

百三拾式文

小平村

一輕尻老疋

七拾八文

柵村

一人足老疋

七拾文

是八元賃錢へ老割五分増

問屋帳出し

一高六百四拾石

但式分通事

元治丑年三月写

粕壁宿へ夜通し

百六拾老文

一本馬老疋

百五文

一輕尻老疋

百六文

一人足老疋

粕壁宿へ夜通御繼立

百式拾文

一本馬老疋

七拾文

一輕尻老疋

七拾式文

一人足老疋

同宿へ早追夜通し

百四拾七文

一本馬老疋

一輕尻老疋

九拾四文

一人足老疋

九拾文

粕壁宿へ夜通早追

式百式文

一本馬老疋

百四拾文

一輕尻老疋

百三拾式文

一人足老疋

同宿へ昼早追

百七拾老文

一本馬老疋

百四拾文

一輕尻老疋

一人足耆人 百拾六文

幸手宿へ夜通し

一本馬耆疋 百八拾壹文

一輕尻耆疋 百拾六文

一人足耆人 七拾文

幸手宿へ夜通し早追

一本馬耆疋 貳百三拾貳文

一輕尻耆疋 百九拾貳文

一人足耆人 百四拾九文

是ハ耆割五分増へ式割増当分御払被下置ニ付  
但口銭引残り分

日光御法会ニ付御繼立人馬へ

七倍五分被下置賃錢元賃錢へ

是迄三割五分増夫々此分四割増御払被下置候ハ前晝賃錢之通り都合七倍五分増左之通

粕壁宿へ

一本馬耆疋 四百七拾三文

一輕尻耆疋 三百拾九文

一人足耆疋(人力) 貳百拾四文

幸手宿へ

一本馬耆疋 五百三拾文

一輕尻耆疋 三百五拾七文

一人足耆人 貳百七拾文

右之通り此度被下置候  
但口銭引去り候分

一道具先払提灯持此三役七倍五分半掛被下置

人足才料加助村ハ人足五拾人ニ付耆人御手当銭貳百文被下置  
定助郷才料村毎耆人御手当貳百文被下置

一蝦夷箱館其外御用ニ而御通行之向ハ御定御賃錢御払御通行ニ相成右人馬江ハ三月九日より四月晦日迄七倍五分御繼立附之人馬江御賃錢被下置御払之儀ハ宿方より左之役御出役様江可申上尤御定賃錢御払被成候分ハ役人より御出役様江相談之由被仰聞七倍五分ニ附御下ケ被下置

一上野一山向寺院方日光江御登山砌□□御通行之向御定賃錢被下置其段  
御公儀様より足御賃錢七倍五分ニ相成ニ附 被下置

一金三拾兩也 但高百石ニ付永貳貫百八拾文  
右ハ定助郷村々御伝馬人馬詰小屋御手当御下金也三月二十九日夜御下ケ無之ニ付宿方問屋小左衛門殿差替御下ケ金之通其内左之名前之者ニ而印晝差入借用

中郷惣代  
御用聞

上戸村

名主 織右衛門

向領惣代

御用聞

蓮谷村

名主 近吾

下郷惣代

清地村

組頭 淳次

堤根村

組頭 傳五郎

倉松村

組頭 藤左衛門

但話小屋三ヶ所

中郷 下ノ組 紀能国屋善一脇

向領 中ノ組 志の屋藤三郎脇  
下郷 新町組 名主 銀之助前

幸手宿へ相對賃錢

七倍五分割合ニ而

一人足老人

一本馬老足

三百九拾貳文

八百三拾四文

差上申御請書之事

一銀三百貳拾四匁 但金壹兩二付

銀六拾匁

此金五兩壹分 永百五拾文

但三月二十四日より四月晦日迄日數三十六日

老人二付銀三匁ツツ

右ハ

御法会ニ付御道中杉戸宿人馬御繼立御差配下役被 仰付相勤候ニ付御手当として晝面  
之通被下置難有奉請取候依之御請印形差上申処如件

武州埼玉郡

百間村

名主 清輔

同州葛飾郡

安戸村

名主 又右衛門

武州葛飾郡

清地村

名主 浅右衛門

丑八月

差上申御請書之事

一錢貳拾八貫九百人拾七文

米代 木錢

錢七貫六百人拾七文

是ハ三月二十四日より五月十三日迄日數四拾八日四拾七泊り四拾八老泊錢三拾五文

老昼錢拾七文ツツ三人分

内

錢貳拾七匁三百文

米代

此白米壹石六升五合

但老升二付

貳百文替

右ハ

御法会ニ付御道中杉戸宿人馬御繼立御差配下役被仰付御用中木錢代晝面之通被下置難  
有奉受取候依之御請印形差上申処如件

武州埼玉郡

百間村

名主 清輔

同州葛飾郡

安戸村

名主 又右衛門

同州葛飾郡

清地村

名主 浅右衛門

右代惣

清地村

名主 浅右衛門

慶応元年八月

右代惣

浅右衛門印

杉戸宿

名主見習

問屋 藤之助印

一高七百七拾九石貳斗六升五合壹勺

内

清地村

高三百四拾七石

酒井分

定助郷勤高

高九升九合

// 残高

六倍五分増杉戸宿分

駄賃並人足賃と茂当卯十一月より

一高七百八拾三石五斗三升五合

内

才羽村

粕壁宿へ

壺里半三丁

荷物耆駄

四百七拾貳文

乗掛荷人共

同断

軽尻馬壹疋

三百拾九文

人足耆人

貳百四拾文

一高三百三石貳斗八升

内

新井村

幸手宿へ

壺里半七丁

荷物耆駄

五百三拾文

乗掛荷人共

同断

軽尻馬壹疋

三百五拾七文

人足耆人

貳百七拾文

高貳斗八升  
右八栗橋宿定助郷

// 残高

一高四百六拾七石八斗貳升七合

内

八丁目村

右之通可致之若於相背者可為曲事も也

高百五拾三石

//

慶応三卯年十一月

高八斗壹升三合

同断

奉行

日光道中御仁馬勤助郷村々高訳

一高六百貳拾五石四升四合

内

小淵村

高式百七拾四石式斗

〃

高九斗五升六合

同断  
残高

古利根川土橋組合拾壹ヶ村

一高五百五拾六石三斗三升

倉松村

一高式百人拾七石壹斗四升

天神島村

一高千四拾八石四斗三升

佐左衛門村

一高六百三拾六石式斗三升

安戸村

一高三百三拾壹石五斗式升

遠野村

一高八百八拾六石五斗四升

平須賀村

一高式百六拾五石壹斗四升

吉野村

一高式百貳拾四石八斗四升

大島村

一高五百七拾九石五斗九升

杉戸宿

一高式百貳拾六石四斗四升

上戸村

一高七百七拾九石式斗六升

清地村

合高五千八百貳拾壹石三斗六升

右拾壹ヶ村組合ハ違變無之書付有之

古利根川土橋組合百間領

一高三百拾六石

中島村

一高五百六拾貳石余

金谷原

一高三百拾石

百間村

後宿村

一高三百八拾貳石  
一高七百石

西村  
東村

合高式千貳百七拾石余

御成道掃除丁場

清地村

一長四拾六間五尺 下高野村地内

但和戸橋柳屋地先より上之方金藏地先迄

清地村地内

一往還長七百貳拾九間

掃除丁場

内 長六拾二間

新町

土橋長五間之処

改四間

幅式間

此訳

堤根境より

長百八拾五間

佐左衛門村

〃式百貳拾九間

清地村

〃百六拾七間

倉松村

〃百三拾間

神扇村

村内杉戸境迄拾八間余有之余間分百間二付式間半ツツ割込致し候

権現堂川通堤水防人足明俵割賦覚

一堤長五千八百九拾五間

此人足千貳百五拾人

但百石二付五人掛り長拾間二貳人掛り

一明俵四千六百俵

但百石二付拾壹俵半

此記

人足三拾九人

明俵八拾九俵

繩三拾房

所八松石村

清地村

右安永元巳年御普請役鶴田初五郎様

上高野村江御話被遊候節相極候写

南側用水路村内浚下場澤刈共

一 杉戸境より

来迎院前橋迄

一 来迎院前橋より

丑索壱本橋迄

一 壱本橋より

中妻石橋迄

一 右石橋より

堤根境迄

倉松村

源内株

藤搦株

宮内株

堤通水防下場松石村地内

一堤長百五拾貳間

清地村

間數不足二有之

此記

長四拾間四尺八寸

同式拾七間一尺六寸

同式拾八間四尺八寸

同断

同断

南側用水当村浚下場

堤根村七之助前石橋より本郷村猿屋白川橋迄

一長六百六拾七間壱尺

此記

百七拾九間

百八拾間壱尺貳寸

百貳拾三間四尺

同断

同断

右八天保十一子年二月壱尺浚之節改割

拾ヶ領之分ヶハ

川俣元塚より川口村迄之掛り

九ヶ領半之分ヶハ

川口塚より上高野村溜井迄之掛り尤九ヶ領半とハ幸手領之内北側直引二付除之候事

上 下 三 豊 九

上 下 三 豊 九



北側組内下川崎中川崎両村ハ

高百貳拾石

下川崎

高三百三拾石三斗四升

中川崎

是ハ下川崎より分水有之候ニ付割合之上差引申候

上下並株中本田三租目安之儀

六〇二二 畑六五強 高貳百九石六升三合 上

田五三弱

三九七六 畑三五弱 高百三拾八石三升六合 下

田四六七強

合高三百四拾七石九升九合

上下三之事

四二五六 上 高同断

二八一 下 同断

二九三三 三 高百四拾四石八升

株中之事

二六八三 上 高同断

一七七一 下 同断

一八四九 三 同断

一八四九 豊 高百四拾四石六合壹勺

倉松落潰地歩引

一八四九 九 高百四拾四石八升

合高七百七拾九石三斗六升五合壹勺

杉戸宿御伝馬勤高

一七七七拾九石 株中

貳百九石 上

百三拾八石 下

百四拾四石 三

同断 豊

同断 九

寛政二

御鹿狩之節 高書之控 柳原高入

嘉永二

田方植付証文之事

一高七百七拾九石貳斗六升五合壹勺 清地村

内田高四百拾六石壹斗三升三勺

田反別四拾五町七反九畝貳拾六歩

内訳 拝領高

田高百三拾五石九斗四升四合 高五千石

田反別拾四町四反貳拾三歩 酒井小石川富坂

田高九拾四石六斗七升七合 高六百石

田反別拾町八畝歩 三宅表番町

田高九拾三石四斗九升四合三勺 高千石

田反別拾壹町四畝貳拾五歩 高田表番町

田高九拾貳石壹升六合 高貳千四百五石

田反別拾町貳反六畝八歩 能勢

右之通り書上候仕来り

但畑高反別元高惣反別之内ニ而引畑高畑反別知べし組々反別ハ古帳面名寄帳之通

リ但上下八別組名寄帳ニ有之古帳面ハ入居百姓之通り也

清地村納汗御割出之写

一高三百四拾七石九升九合

外高八升五合 柳原錢上納仕候

酒井

是ハ明和三戌年御上地ニ相成相州入谷村反高場ニ而代地御掛リ

内

拾四町四反式拾三步

田方

式拾五町八反式步

畑方

此取

上田五町五反七畝式拾壹步

反六斗取

此取米三拾四石四斗六升式合

盛十壹

中田六町三反九畝步

反五斗取

此取米三拾壹石九斗五升五合

盛九

下田式町四反三畝式拾九步

反三斗八升取

此取米九石式斗七升壹合

盛七

取米合七十四石六斗八升八合

此俵式百拾三俵壹斗五升七合六勺

延米 壹俵四斗入

口米共 壹俵山掛ケ斗リ入

上畑七町六反六畝四步

反永百五文取

此取永八貫四拾四文

盛十

中畑七町四反七畝拾步

反永九拾文取

此取永六貫七百式拾六文

盛八

下畑七町三反五畝式拾七步

反永七拾五文取

此取永五貫五百拾九文三分

盛六

下々畑四反式畝四步

反三拾文取

此取永百式拾六文三分九厘三毛

盛四

屋敷

内壹畝式拾五步

郷藏屋敷引

残り式町八反七畝拾步

反百式拾五文

此取永三貫四百四拾八文

盛十

永式拾三貫八百六拾四文

口永七百四拾五文八分

合永式拾四貫六百拾式文四分

内米三拾九石八斗壹升式合

御定免

此俵百拾三俵式斗九升九合

上納辻上組

七合

永拾五貫五百拾壹文

口永四百八拾四文七分

合永拾五貫九百九拾五文七分

米三拾四石八斗七升七合

同断 下組

此俵九拾九俵式斗五升九合

永八貫二百五拾四文  
口永貳百六拾壹文

改

上下ノ

米貳百拾二俵壹斗五升四合

御知行所高取並反取分ケ之事

一 田方畝歩ヲハ田法之三ニ而割反畝江加ヘ米ハ反取六斗之米ヲ定法三五ヲ以割壹俵成此取米之同取四斗壹升ヲ掛ル是商延口ニ元米と志るベシ但俵ハ四斗壹升ニして納るもの也

先ツ 上田壹反之取七〇三ヲ掛るベシ

中田壹反之取五八三ヲ掛るベシ

下田壹反之取四四七ヲ掛るベシ

右口石斗り立之節不足米無之様心得ベシ

一 畑方ハ反取永ヲ乘し其永江三乘し而口永也永立九二付永三拾文ツツ口永相掛り申候

但取立永不足致候節ハ免相掛る

上 畑壹反 一〇二八ヲ乘ベシ

中 畑壹反 九二八ヲ乘ベシ

下 畑壹反 七七三ヲ

下々畑壹反 三壹ヲ

一 高取ケハ上中下田畑畝歩之分三ニ而割石盛乗じて高と志るベシ

延米口米分方心得之事

米壹俵三斗五升入 定

一米百俵ニ付三拾五石

此三拾五石へ俵之倍石七斗四升掛テ三五九ト成是ヲ七ニ而割ニ七ト成納米壹俵三斗七升ト定也故二百俵三拾七石成内三拾五石引残り米貳石延口米也是ヲ三ツニ割

壹ツ口米也

二ツ延米也

五ヶ村

取極之事

樋遣川

一 高千貳百九石壹斗壹升四合九勺 四二壹六

五ヶ村

一 高千六百五拾八石七斗九升八合

五七八四

樋遣川村

嘉永二丑年三月二請書

御本家様御内狩野助右衛門様双方連印ニ而以後其趣取極連書左記之通り

五千石割之節

一 高九百貳拾三石壹斗九合八勺

五ヶ村

一 高千〇七拾八石八斗七升貳勺

樋遣川村

是ハ前々房州朝夷郡川谷津村高之内書面之高五ヶ村江組込奉差上候処近年右村樋遣川村へ御村替ニ成候ゆへ尚又川谷津村ト樋遣川村ニ而相勤候筈ニ取極対談書有之候儀ニ付預リ置ク

口人恐悦御用金諸夫金御年始ハ此外近年除々口口口ハ相除其外前書之通り不足分樋遣川村より足金可致筈

五ヶ村之事

一高百五拾三石八斗壹升三合四勺

壹二七二

内 八丁目村

田拾八町五反七畝貳拾六步

畑拾壹町五反九畝拾壹步

一高貳百七拾五石貳斗壹升三合

二二七七

内 小淵村

田拾七町七反六畝拾三步

畑拾八町壹反九畝四步

一高三百四拾七石壹斗八升四合

二八七五

内 清地村

田拾四町四反貳拾三步

畑貳拾五町八反貳拾步

一高百貳拾九石六斗貳升四合五勺

壹〇七二

内 才羽村

田拾四町貳反六畝貳拾四步

畑七町七反拾五步

一高三百三石二斗八升

二五〇七

内 新井村

田七町四反五畝貳拾三步

畑三拾壹町六反七畝七步

近年荒地御取箇なし御冥加米貳拾五俵可納候畑永斗り

田畑合百六拾九町壹畝拾九步

内

田七拾貳町六反七畝貳拾三步

畑九拾六町三反貳拾三步

内

田貳町五反三步

畑壹町壹反三畝貳拾五步

才羽村

米野谷分

樋遣川村反別並納辻之事

一高千六百五拾八石七斗九升八合

五七八四

此反別百七拾六町七反七畝拾三步

樋遣川村

内

此反別七拾九町壹反九畝七步

田方

田高七百九拾壹石四斗五升四合

此反別九拾七町五反八畝六步

畑方

畑高八百六拾七石三斗四升四合

御知行国々村高

一高千三百拾貳石六斗四升貳合七勺五才

相州

此訳

六百六拾六石八斗九升七合五勺五才

入谷村

三百拾三石九斗貳升九合

五〇八壹

百拾壹石五斗壹升六合

北高森村

百拾壹石五斗壹升六合

二二九九

百拾壹石五斗壹升六合

前高森村

百拾壹石五斗壹升六合

八四九六

百貳拾六石壹斗七升

栗原村

六拾五石貳斗四升

堀沼城村

貳拾九石四斗三合貳勺

下吉沢村

一高千八百貳拾七石七斗七升七合壹勺

房州

此記

三百拾六石貳斗九合五勺

池田村

三百七拾六石四斗八合

宮山村

三百三拾五石貳斗壹升壹合四勺三才

北風原村

貳百三拾壹石壹斗四升

西野尻村

貳百貳拾七石貳升

東野尻村

貳百六拾七石三升貳合六勺

星ヶ畑村

七拾四石七斗五升三合

寺門村

此外房州朝夷郡

高千五百壹石五斗三升壹合有之処

海岸御警備御用地二相成樋遣川村江御替地

天保年中

一高千百六拾六石六斗七升七勺

総州

此記

百六石壹斗九升七合

両国新田

五拾九石九斗九升貳合五勺

新堀村

百石三升三合貳勺

五卷四五

百六拾四石六斗八升

下大蔵村

百拾貳石五斗六升貳合

八五七八

五拾七石八斗五升七合

寺崎村

百八拾五石六斗九升壹合

小泉村

三百七拾九石六斗五升八合

九六五卷

五ヶ村

松ヶ谷村

樋遣川村共

四九六卷

惣高七千拾七石七斗三升四合三勺八才

本須賀村

千石

武州五ヶ村

内九百貳拾壹石壹斗貳升九合八勺

卷五九二

房州川谷津替地

樋遣川村二而

五ヶ村足高之事

千石 相州  
千石 房州  
千石 総州  
千石 武州樋遣川村

外二  
七拾八石八斗七升貳勺  
武州五ヶ村江足高  
樋遣川村二而足高

右五千石割之節ハ前書之通可仕候事

### 奉差上候御請書之事

一金三拾兩也

右ハ此度御家中様より為御救御貸渡相成候殘金村方江御下ヶ相成当丑年より来々戌年迄拾ヶ年御貸付候二而年々壹割五分之利息可差上段被 仰渡承知奉畏候然ル上ハ村役人共二而奉預元利共書面之通り無相違上納可仕候依之御受証文依而如件

武州葛飾郡 清地村  
名主 直五郎  
慶応元丑年五月 〃 深井浅右衛門

### 奉差上候御請書之事

一今般大砲旨被遊御請致候ニ付壹ヶ国金五兩宛国々合金貳拾五兩当丑年より来々午年迄六ヶ年之間都合百五拾兩上納可仕旨被 仰付御下金之儀ハ七ヶ年目より猶又御

収納内ニ而壹ヶ国金五兩ツツ六ヶ年之間御下ヶ被成下置候趣被 仰付一同承知奉畏候然ル上ハ歸村之上村々役人共江申聞当暮より壹ヶ国金五兩ツツ前書午年迄可奉差上納候依之御受書奉差上候処相違無御座候以上

慶応元丑年五月  
房州長狭郡寺門村 名主 徳左衛門  
総州武射郡新堀村 〃 市太夫  
相州大住郡堀沼城村 〃 大森豊八  
武州埼玉郡樋遣川村 〃 矢沢源兵衛  
武州葛飾郡清地村 〃 深井浅右衛門

### 酒井家

清和天皇七代人幡太郎義家三代新田大炊介義重四男徳川四郎義季九代徳川雅楽之助親氏君一男

源広親 酒井徳太郎 与四郎 雅楽之助  
一参州幡豆郡酒井村二而誕生  
芳樹院様江奉仕従是御家被  
相成代々重ク被召仕御代々様江奉仕候  
忠清 熊之助 与四郎 河内守  
雅楽守(頭) 従四位左少将  
右御弟万千代 酒井日向守従五位下  
忠能

富坂様御先祖  
一寛永五年(一六二八) 戊辰三月十七日江戸ニ而誕生  
一宝永二年(一七〇五) 西五月二十二日病死  
圓浄院殿  
崇福寺江葬  
右御高書写

一寛文二年（二六六二）壬寅六月四日向守信州小諸城主被 仰付旧領二万五千石之  
処御領知翌年御加増高二詰被 下置之御分家分ル

又

一元禄七年（二六九四）甲戌十二月三日御講書拜聞御仕舞拜見依上意右譽茂熊野之

仕舞入 上視

一同八年（二六九五）乙亥二月十九日武州伊奈半左衛門御支配所拾五万石領之処檢地

被 仰付之

一同年十二月二十九日武州檢地御用相勤候家来拜領物被 仰付候也

右八

御本家様御系図内二而写

当丑年近村之田方御檢見

御引方

樋遣川 五ヶ村二而  
百兩持參する様申掛り候処

内

金貳拾五兩 樋遣川

金四拾兩 五ヶ村

十二月朔日出

外二貳拾兩樋遣より当十一月二十四日京屋より六日限二而出ス

右丑十二月朔日出ス

（朱書）

一 慶応元丑年

慶応二寅年

御年始国々出府

献上

鮭 塩引 五本

代金壹兩貳分也

一 植田貳拾五束

代金貳分壹朱

一同断

一同断

一同断 御本家様より御附

一 植田拾貳束

一同断 地方本役

一金三朱 御口方

一 "

一 "

人見勝三郎様

印藤五郎兵衛様

木村孫一郎様

久保勝右衛門様

細野佐十郎様

和田柳蔵様

松田栄太郎様

大原口様

吉沢口平様

清地村  
隣村上堤根村

平岡岩見守様知行  
二分六厘御引方

三分

才羽村  
御公儀之内  
候得共知行之内

小淵村  
八丁目村

隣村不残  
御料所

大坂表今川殿書状二而

一金三朱  
一式百文

小頭 松田□□様

一式百文 仲間衆

一式百文 □□□

一式百文 小遣

一式百文 □□□

一五百文 御門

一金壹朱 大部屋

小頭下役 金田 金兵衛様

外

一金貳分

人見様御新造様

此 割老ケ国金壹両老分ツツ  
□□割老ケ国金壹両三分ツツ

寅年出府

上総小泉村

四郎右衛門

房州星ケ畑村

六左衛門

武州樋遣川村

佐藤富右衛門

武州清地村

深井浅右衛門

総州入谷村

飯島吉右衛門

一札之事

質屋渡世之儀二付而ハ去々辰年八月中

御奉行所様より被 仰渡候趣ヲ以 関東御取締

御出役様方より厚御教諭御受証文奉差上候質屋之儀大小惣代当村役人立ち会老ケ年両

圓ツツ見改可申答二付去々未年十一月已来之分御見届ケ之上兼而被 仰渡有之通相心

得置き証人兩判取於而御趣意筋堅相守正路二渡世可仕候若聊たりとも等閑之取扱方有

之候ハハ帳面御見届ケ之上何段二茂御取斗被成候且今般御改二付無益之入用筋相成り

不申御非分之儀毛頭無之候

依之印形致置処如件

年号 月日

武蔵国葛飾郡

杉戸宿外四拾老ケ村

組々

質屋連名

清地村

新右衛門

十兵衛

丑蔵

太右衛門

多吉

清兵衛

常八

杉戸宿

傳次郎

友右衛門

勘左衛門

藤兵衛

吉左衛門



要藏  
伊兵衛  
源二郎  
与三郎  
幸十郎  
又七  
惣新田  
次兵衛  
金次郎  
傳二郎  
市右衛門  
周八  
要七  
直助  
幸二郎  
武兵衛  
宇兵衛  
七郎兵衛  
嘉七  
武兵衛  
藤助  
藤二郎  
郡二郎  
伊右衛門  
吉兵衛  
清右衛門  
大塚村  
長右衛門  
佐左衛門村

惣七  
蓮沼村  
忠七  
吉次郎  
倉松村  
勘五郎  
重郎  
堤根村  
金右衛門  
四郎左衛門  
十右衛門  
次郎右衛門  
金藏  
清右衛門  
武左衛門  
上堤根  
与左衛門  
下高野村  
源左衛門  
下野村  
留吉  
安戸村  
与右衛門  
勘左衛門  
傳二郎  
吉野村  
半助  
遠野村  
吉右衛門

茨島村  
藤蔵  
才羽村  
勘五郎  
庄五郎  
藤次  
市五郎  
並塚村  
市太郎  
三五郎  
須賀村  
平右衛門  
惣七  
爪田谷村  
留吉  
四郎五郎  
城村  
惣兵衛  
小久喜村  
忠兵衛  
定助  
喜三郎  
左兵衛  
卯助  
西条原村  
権助  
与之助  
忠五郎  
百間東村

百之丞  
徳右衛門  
篠津村  
惣助  
源二郎  
正輔  
留蔵  
伊平二  
清蔵  
百右衛門  
留右衛門  
中島村  
沖右衛門  
白岡村  
源左衛門  
定助  
寺塚村  
多平二  
新宿村  
傳蔵  
下野田村  
磯助  
勘五郎  
千二郎  
百間東村  
弥兵衛  
上野田村  
金右衛門  
市兵衛

(朱書)

一 慶応三卯年御年始

国々 金壹両壹朱ツツ

〃三両貳朱ツツ

献上 塩引五本

金三両貳朱 但壹本

貳分三朱ツツ

□□□共

〃三両貳分□

佐左衛門

新右衛門

百間村

武兵衛

丈右衛門

四郎右衛門

喜助

嘉右衛門

武左衛門

代金壹分貳朱

一 植田拾貳束

代金壹分貳朱

一 植田九束 御□方

代金壹分

一同断 〃

代金壹分 〃

一同断 〃 兼小頭

代金壹分

一金貳朱 御番屋

一 貳百文

一 貳百文

一 貳百文

一 貳百文

一 貳百文

一 貳百文

一 五百文

〃

金貳分

御年玉

〃

是八年中御世話ニ相成候故差上申候

一金貳分 細野様江

国々□□□□□□御年始御入用

割合之内へ入込右内ニ而□□差上申候

一金壹分

小頭今川様地方去年より被仰付候儀兼役ニ付差上申候

惣〃

和田柳蔵様

松田栄太郎様

大原□ 〃様

今川九郎兵衛様

十 三右衛門様

仲間衆

御門番

□□□

小遣

□□□

□□□

□□□

大部屋

人見様御新造様江

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

一 植田拾貳束

代金貳分貳朱

一同断

代金貳分貳朱

一同断

代金貳分貳朱

一同 貳拾五束

代金壹両也

一 植田貳拾五束

細野半十郎様

久保勝右衛門様

木村孫一郎様

印東五郎兵衛様

人見勝三郎様

右ハ諸色高直ニ付掛代ハ格別ニ有之候間国々物代御請致処前書之通り  
御停止ニ付

正月十一日  
御拝申上候

上総国武射郡寺崎村

名主 喜惣二

安房国長狭郡寺門村

〃 徳右衛門

相模国大住郡堀沼城村

〃 大森豊八

武蔵国埼玉郡樋遣川村

〃 矢沢源兵衛

同州 葛飾郡清地村

〃 深井浅右衛門

卯ノ正月二十五日

八丁目村

上分

倅

浅二郎代リ

□□□ 友吉

右之もの差出申候

乍恐以書付奉申上候

一御知行所四ヶ国名主共一同奉申上候御中間夫役請金之儀国々区々ニ而不同之割合仕  
候処近年追々諸色高二相成已前之請金ニ而ハ夫役之儀難勤趣ニ付此度一同御願之  
上夫役老人ニ付請金八両貳分ニ取究申度奉願上候此段乍恐以書付奉申上候以上

房州長狭郡東野尻村

慶応三卯年四月

名主 庄兵衛

武州埼玉郡樋遣川村

名主 忠兵衛

総州武射郡两国新田

名主 実川卯兵衛

相州高座郡入谷村

名主 飯島吉右衛門

武州葛飾郡清地村

名主 深井浅右衛門

御代官様

請取申兵賦金之事

高金三百三拾三兩壹分銀五匁内

一金百六拾六兩貳分也

右是ハ当丑年兵賦金春納書面之通上納請取申候仍而如件

村田十左衛門印

慶応三卯年三月十一日

酒井安房守殿

四月十一日国々集金

ノ貳百拾兩壹朱

錢八百九文

右上納仕

内百六拾五兩拝借金上納

同残四拾貳兩壹朱

錢八百九文

□□□

乍恐以書付御請奉申上候

一金二百三拾二兩壹分銀五匁

此割壹ケ国二付

金六拾六兩貳分貳朱

銀貳匁五分

右ハ御公儀様江御納ニ相成候兵賦請金当卯年壹ケ年分春秋納有之来ル六月十五日迄上納仕度段奉願上候処御聞濟被成下候ニ付右之通無相違上納可仕候依之御請書奉差上候処如件

武州埼玉郡樋遣川村

年寄 忠兵衛

慶応三卯年四月

房州長狭郡東野尻村

名主 庄兵衛

総州武射郡両国新田

名主 実川卯兵衛

相州高座郡入谷村

名主 飯島吉右衛門

武州葛飾郡清地村

名主 深井浅右衛門

御取箇之覺

御定免

武州葛飾郡

五ヶ村

一米八百拾壹俵貳斗八升六合八勺

畑方

一永九拾三貫八百八拾九文九分四厘壹毛

ノ

同村

御定免

一米五百四拾俵壹斗貳升七合五勺

畑方

同州埼玉郡

樋遣川村

一永貳百拾貳貫九百壹文九分

ノ

同村

御定免

相州高座郡

大住郡

六ヶ村

一米七百三拾九俵壹斗九升四合貳勺五才

内七俵四斗壹升三合六勺四才 荒地川欠引

一永百五拾八貫七百七拾五文三分四厘壹毛 同村

ノ

御定免

房州長狭郡

一米千百五拾六俵九升四合六勺

畑方

七ヶ村

一永六拾八貫五拾貳文四分四厘四毛

ノ

同村

御定免

総州武射郡

一米八百俵三升六合八勺

畑方

八ヶ村

一永貳拾七貫八百六拾五文七分五厘三毛

ノ

同村

惣合高

一米四千四拾七俵三斗

四ヶ国

三升九合式勺四才

式拾七ヶ村

畑方

一永五百六拾貫七百八拾五文三分八厘

同断

ノ

右ハ安政四巳年より慶応式寅年迄拾ヶ年

定免破免

御公儀様江

御地頭所様より奉差上候節我等方へ国々被

仰付相州下吉沢村足納分有之是ハ老ヶ年分有之記之置候

一高百五拾三石八斗壹升三合四勺

八丁目村

此反別三拾町壹反七畝六歩

内

田拾八町五反七畝式拾六歩

此取米六拾九石五斗五升九合四勺三才

内

米六石六斗式升四合七勺

延米

米三石三斗壹升式合三勺六才

口米

合米此俵百九拾八俵式斗九升六合四勺九才

但 延口共

四斗入納

畑拾壹町五反九畝拾歩

此取永九貫百六拾五文壹分

本途

永式百七拾四文八分

口永

納合米百九拾八俵式斗九升六合四勺九才

永九貫四百三拾四文九分

一高百式拾九石五斗六升式合五勺

才羽村

此反別式拾壹町三反四畝拾三歩

内

田拾四町式反六畝式拾八歩

此取米六拾壹石式斗八升

内

米五石八斗三升七合三勺式才

延米

米式石九斗壹升八合六勺六才

口米

合俵百七拾五俵三升六合

但 延口共

四斗入納

畑七町七畝拾五歩

此取永六貫百式拾四文四分

本途

永百八拾三文七分三厘

口永

納合米百七拾五俵三升六合

永六貫三百八文壹分三厘

一高三百四拾七石九升九合

清地村

此反別四拾町式反式拾五分

内

田拾四町四反式拾三歩

此取米七拾四石六斗八升式合

内

米七石壹斗壹升四合六勺七才

延米

米三石五斗五升七合三勺三才

口米

合俵式百拾三俵壹斗五升四合

但 延口共

四斗入納

畑貳拾五町八反貳歩

此取永貳拾三貫八百六拾四文

永七百拾五文九歩貳厘

納合米貳百拾三俵三斗五升四合

永貳拾四貫百七拾九文九分貳厘

本途

口永

一米千百六拾四俵貳升八合四勺四才

永八拾九貫六百三拾壹文八分三厘

一

清地村

八丁目村

慶応三卯年十月御用二付

御地頭所様より国々名主御呼出二付

左者出府 □□□□

房州星ヶ畑村

組頭 七郎右衛門

総州西国新田

小泉村

佐仲

四郎兵衛

相州入谷村

飯島吉右衛門

武州樋遣川村

矢沢原兵衛

同州清地村

深井浅右衛門

田拾七町七反六畝拾三歩

此取米七拾八石五斗七升壹合五勺

内

米七石四斗八升三合

米三石七斗四升壹合

合儀貳百貳拾四俵壹斗九升六合

但 延口共

四斗入納

本途

延米

口米

畑拾八町壹反九畝四歩

此取永拾六貫八百貳拾七文六分

永五百四文八分三厘

合納永拾七貫三百三拾貳文四分三厘

本途

口永

納合米貳百貳拾四俵壹斗九升六合

永拾七貫三百三拾貳文四分三厘

安政四巳年より慶応二寅年迄拾ヶ年五ヶ村平均

一米千三百八俵六升三合八勺四才

永六拾貫六百五拾五文七分四厘

才羽村

一金三百三拾三兩壹分銀五匁

兵賦拾六人六分

乍恐以書付御受奉申上候

右一同□□□□□□□□□□□□□□奉申上候以上

十月三日

役金四ヶ国分

但 壹ヶ国二付

金六拾六兩貳分貳朱銀貳匁五分宛

一金四百兩也

但 壹ヶ国二付

金八拾兩宛

右ハ今般兵賦兵卒共御廢止ニ相成

御 公儀様江御軍役金年々御收納高之内半数ツツ被為遊 御上金御趣被 仰付右

御上金相済候迄国々ニ而其御軍役御足金右御家中様御扶助金共前書之役金来辰年より

酉年迄六ヶ年之間御上納可仕被 仰付一同承知奉畏候御受納方之儀ハ六月九月式度ニ

御上納仕度段奉願上候処御聞濟ニ相成一同難有奉存候然上ハ私共帰村之上村々役人共

江申聞候依之御受書奉差上候処如件

武州葛飾郡清地村

太右衛門

利右衛門

淳二

六左衛門

源右衛門

七兵衛

常八

式右衛門

市兵衛

直五郎

浅右衛門

合金四百三拾六兩

右ハ前書之者共一同申上候

御進發二付

御殿様被為遊 御供上坂中並々之御物入被為在御座候得共 御本家様御世話中之儀

ニ而御用金等も不被 仰付此段一同難有奉存候就而ハ今般御国々乍恐為御冥加前書之

通来卯年より来々酉年迄七ヶ年ニ奉献金致度存候間此段御極成被下度奉願上候

慶応二寅年十二月

前書役人

名前印

同断 新井村

徳右衛門

藤次郎

七兵衛

七右衛門

三次郎

慶応三卯年十月

房州長狭郡星ヶ畑村

組頭 七郎右衛門

総州武射郡両国新田

名主 佐仲

相州高座郡入谷村

名主 飯島吉右衛門

武州埼玉郡樋遣川村

名主 矢沢源兵衛

武州葛飾郡清地村

名主 深井浅右衛門

御代官所様

乍恐以書付奉願上候

御知行所

一金貳拾兩

一〃拾五兩

一〃拾兩

一〃拾兩

一〃拾兩



合金六拾五兩

文面前同断

村役人印

同断

小淵村

一金六拾兩

一〃六拾兩

一〃四拾兩

一〃四拾兩

合金貳百兩

文面前同断

村役人印

同断

八丁目村

一金三拾兩

一〃三拾兩

一〃三拾兩

一〃貳拾兩

一〃拾兩

合金百貳拾兩

文面前同断

村役人印

同断

才羽村

一金貳拾五兩

一〃拾五兩

一〃拾五兩

一〃貳拾兩

一〃貳拾兩

一〃拾兩

一〃七兩

一〃拾五兩

一〃七兩

一〃七兩

一〃拾貳兩

合金百五拾三兩

文面前同断

村役人印

辰分暮納

正月十日

出府

一金三拾兩也

此足金四兩貳分也

一金五兩也

大砲御繼立ニ付老ケ国五兩ツツ六ケ年之内定納致七ケ年目より右五

兩ツツ御下ケ被下候趣被 仰付候分

卯ノ三ケ年目分

一金拾五兩也

御奥向様方□□□之節来□□御□□御用意日限□□□金五拾兩五

ケ年之儀

当卯四ケ年目分

仁右衛門

又右衛門

藤二郎

一御法会ニ付道中筋宿々繼立人馬其外御手当之分御触面之通拾六ケ国国役金取立可申

旨被 仰渡候而別段之書付式通御達中右国々之内各々様御知行有之候分国役金御

納並ニ御組知行有之候ハ、可相納旨御申儀ニ相成候

尤今般

御法会ニ付日光登山並ニ御進発御用罷成候面々ニハ当丑ケ年迄ニ相成候□其領所

書御差出之相成候委細之儀別段之書付ニ而御承知有之候□□□

丑ノ十一月

当丑年日光御法会ニ付道中筋宿々繼立人馬其外御手当国役金御触面之通之拾六ケ国

御料私領等村高百石ニ付老ケ年分金老分永七拾九文宛当丑年より来々巳年迄五ケ

年之間相納候筈ニ御座候

一右ハ国々之内御朱印寺社領其外前々より詔有之高懸リ諸役免除高且此度御手当被下候宿々並定助郷渡船川掛リ相勤候高其領当分助郷之領中老ケ年之内老ケ月以上相勤候ハハ勤高其年分国役除候積リニ付何之領知行何村高之内何升何合迄当何宿道中何ニ付キ何年何月相成通当分助郷相勤候段相違無之趣罷有年寄連印出訴申請除高改書出役江相添御差出之可被成候該村々冥加ニ而出候得而相納候分ハ右出訴ニ不及高凶詔出訴之相納可成候其外拝領高凶高改出候村内高之分ハ相懸リ候積リニ付其所之通用次第合ニ而成共尤余ハ時□□ヲ以村々より御取立近江国之分ハ京都奉行所江納候同様並手形案文御問合差凶之上右同様相納被成候其外拾五ヶ国之儀ハ一旦於江戸掛リ御代官左之名前之内へ納候様手形案文等何月分御問合前同改金之内其所之通用次第□相納同改之積リニ而当丑年より年々十二月中御納相成候猶相応之村々ニ而も翌年十二月中被相納被成候

一去ル酉年杯御伝馬等被相勤候処又非常之災害有之向ハ年延ニ相成候義も有之候間其訳書付以御問合相改向後此段右様ハ勿論其同様御問合相成候事  
一右国役金相納相濟候ハ、別段案文之通美濃帳面ニ御記帳致手形ニ而も相添大手御代官所後御勘定所江御差出之可被成候事

掛リ御代官名前左之通

今川要作  
福田所左衛門

(朱書)

一慶応四辰年正月十一日  
但正月十日国々相揃候

殿様御風邪ニ而十四日御移成申候

一献上 塩引五本

但一本式分也、式両式分也

一植田式拾五束 代金老両也

御家老 人見勝三郎 様

一同断 〃 式分式朱 御用人兼年寄

人見□□□□様

一同断 〃 式分式朱

久保勝右衛門様

一同断 〃 〃

木村孫一郎 様

一植田拾式束 〃 老分式朱

印東五郎兵衛様

一同断 〃 〃 代金老分

細野半三郎 様

一植田九束 御□方

和田柳蔵 様

一金三朱 小頭下役

今川九郎兵衛様

一金式朱 御番屋

大泉新蔵 様

一式百文

松田藤吉 様

一式百文

大作喜八 様

一式百文

十三右衛門 様

外二

中□

一式百疋人見様御新造様江差上候

日頃御世話ニ相成候ゆへ御年玉ニ差上候

此入用国々老ケ国ニ付

金老両老分ツツ樋遣川之分半金ニ相成候

少々残る外ニ塩引代金式分ツツ出候

一

慶応四辰年二月

御本家様千石二付米五百俵宛代金両二式斗相場二而被 仰付割合左二  
一金千両 武州五ヶ村

此割

百式拾七両三朱下

八丁目村

百式拾四文

金式百式拾七両式分三朱下

小淵村

百式拾四文

金式百八拾七両式分也

清地村

金百七両三朱下

才羽村

百式拾四文

金式百五拾両式分三朱下

新井村

百式拾四文

割合立会人

二月十日

八丁目村

半左衛門

要人

忠兵衛

小淵村

吉兵衛

藤次郎

大治郎

百右衛門

米三郎

才羽村

藤輔

岡右衛門

半次郎

新井村

徳右衛門

七右衛門

清地村

直五郎

源右衛門

七兵衛

淳次

平次郎

六左衛門

右八御目代人見勝三郎様 御出役二而

被 仰付御請印奉差上候

前書之内米三百俵二御掛二相成代金

六百両二相成是へ割出又

差上申御請書之事

一御知行所武蔵国葛飾郡清地村外四ヶ村当卯御收納米御払御仕切米壹両二付米式斗式  
升之相場ヲ以取払奉願上候処御聞濟被成下承知奉畏候

右代金十二月二十日限

御上納可奉申上候御請書仍如件

武州葛飾郡

慶応三卯年十一月

清地村

取締役

浅右衛門

御地頭所様

御役所

辰二月晦日書上候

相州 両式斗式升五合

樋遣川両式斗式升

是八

御地頭所様より 御公儀様江  
御收納半納被 仰付右御仕切相場也

覚

一米三百俵 但四斗入

両二式斗替

代金六百両也

此割

金七拾六両壹朱

錢貳百文

//百三拾六両貳分壹朱

錢貳百文

//百七拾貳両貳朱

錢貳百文

//百五拾両壹分貳朱

錢貳百文

右八御本家様江

御仕切米前書之通割合仕候

八丁目村

小淵村

清地村

才羽村

新井村

武州清地村

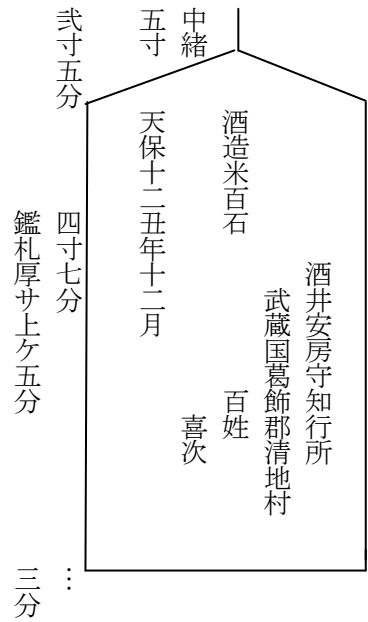
深井浅右衛門

慶応四辰年三月

御代官様

式寸五分

四寸七分



右御鑑札表

関保右衛門

役所

印

右御鑑札百石二而金拾両拝借料奉差上年々御冥加永七百五拾文ツツ上納致来り候処此  
度

徳川様駿府江御帰城被 仰付候御高七拾万石罷為成候御時節

天朝料二相成御鑑札御書替借料之儀も百石二付金貳拾料ツツ上納被 仰付左ニ写置

尚又御減し相定高百石二付金拾両上納仕候

差上申御請書之事

一私共村々当田方御検見並ニ破免御検見入奉願候ニ付為御取調去卯より拾ヶ年並弘化  
三年年割附皆済目録共々所持来ル十月七日迄ニ差出可申旨被仰渡之趣承知奉畏候  
依之御請書印形差上申候以上

武州葛飾郡

辰九月二十四日

清地村

名主 浅右衛門

葛飾郡八ヶ領村数貳百八拾七ヶ村

一 高拾壹万六千七百八拾八石八升

其後追々新田開發致

一 高七千百石

一 壹万千百石

一 壹万七千七百石

一 壹万三千四百石

一 壹万貳千九百石

一 壹万九千九百石

一 貳万八千四百石

一 貳千石

一 四千四百石

大略

拾壹万六千九百石余

新田ハ此分之外

本寺武州葛飾郡平須賀村宝聖寺

一 三十八間 境内四反拾六步 真言宗 来迎院 上

三十貳間

本寺武州埼玉郡寺村西光院

一 三十六間 境内貳反四畝步 真言宗 万福寺

二十間

一 十八間 近津明神社地壹反貳拾步 别当

十間 内四畝貳拾步大門入 来迎院 上

一三 間 弁財天社地拾貳步 别当

四 間 巖島明神より改 同寺 上

明治三年庚午

一十二間 天神社地五畝貳步 别当

十一間 内貳拾步大門 同寺 上

一五 間 金山権現社地拾五步 别当

三 間 稻荷大明神社地拾四步 同寺 上

一四 間 同寺

三 間 同寺

一八 間 香取大明神社地 别当

五 間半 壹畝拾四步 来迎院 上

一十三間 雷田社地七畝拾壹步 别当

十七間 同寺 上

一十二間 八幡社地七畝步 别当

十七間 万福寺

一四 間 御泥権現社地貳拾貳步 别当

五 間半 同寺

一十 四間 天神社地貳畝拾步 别当倉松村

五 間 延命院 下

一三 間 神明社地拾貳步 别当

四 間 同寺 下

右境内並社地等吟味之处ニ旧地無□□□□無年貢地  
右奉窺御勘定所へ以御証文之相除候処如斯

内田 一七 間半 土取場壹畝八步 上 村中持

五 間 上

前

一四十八間 土取場八畝步

同断

五間

一二十八前 溜池壹反六畝貳拾四步

上村中持

十八間

一壹間 稻干場八步

權左衛門

八間

一壹間半 稻干場二步

忠右衛門

貳間

一七間 廟所壹畝貳拾六步

来迎院

八間

一七間 廟所壹畝五步

下村中持

五間

一貳間 廟所四步

佐太郎

貳間

細川中将様御内

知巢事

佐々布貞之丞 様

判巢事

鹿子木弥左衛門 様

御役所

岩間九右衛門様

高橋三蔵 様

柴田喜一郎 様

逸見小十郎 様

太田直次郎 様

門岡清左衛門様

宮本弥之助 様

浅山寛一郎 様

辻雄一郎 様

佐賀要蔵 様

野々村与一 様

柳沼収蔵 様

宮原良造 様

沢熊之丞 様

笈目孫之丞 様

田川直三 様

足立岱佐 様

和田保三 様

乍恐以書付奉申上候

酒井安房守元知行

武州葛飾郡

清地村本田

米壹俵四斗入

但 本途三斗五升

口米壹升

延米貳升

ノ米貳升

右村役人奉申上候当村分御年貢米前書之通相納候尤本途延口共合俵二而相納来候分此  
段御聞濟奉願上候

辰十月十六日

右村

役人惣代

浅右衛門

佐々布貞之丞様

御役所

乍恐以書付奉申上候

丙午年迄通

去ル午年より

去ル卯年迄拾通

右ハ私共村方は迄前書皆済目錄ニ而御年貢米永上納仕来候分右本書写を添奉差上候処  
相違無御座候以上

酒井安房守元知行

武州葛飾郡

清地村本田

右村

役人惣代

浅右衛門

辰十月十五日

佐々木貞之丞様

御役所

当御支配所

清地村

株中

一高七百七拾九石貳斗六升

五合壹勺

内

田高四百拾六石壹斗三升三勺

同反別四拾五町七反九畝貳拾六步

畑高三百六拾三石壹斗三升四合八勺

同反別四拾五町三反六畝拾七步

家数百三拾八軒 内百姓四拾四軒外寺壹ヶ所

人別六百九人 内男貳百人拾九人

女三百貳拾九人

家数拾九軒

人別九拾三人

内男四拾九人  
女四拾四人

家数拾五軒

人別八拾貳人

内男三拾五人  
女四拾七人

家数拾五軒

人別九拾人

内男四拾四人  
女四拾六人

明治元辰年十二月二十五日

明治元辰年破免ニ而上下

上納左之通

一米貳拾貳石四斗四合六勺

此斗立貳拾三石六斗八升四合九勺

一米六斗四升壹勺

此斗立六斗七升六合七勺壹才

貳拾四石三斗六升壹合六勺壹才

三役之事

一高三百四拾七石九升九合

畑屋敷  
除地分別

上

三

豊

九

本途

口米

上  
下

一永八百六拾七文七分四厘七毛  
御藏前  
一米六斗九升四合壹勺九才  
六尺給米

外斗立  
御伝馬宿  
一ノ式斗八合式勺九才  
入用

米壹斗二付 元石壹斗二付  
壹升壹合

### 右三役之算法

其村之高を四て割御藏前  
八式と六二三掛ケの高

但元石壹斗二付  
壹升三合掛ケ斗立

御收納米算法 口米壹斗二付三升

本斗米江七四掛七二而割  
斗立米出ス

口米ハ本斗米江式ヲ掛ケ七二而割  
口米也

但

口米江七四ヲ掛ケ七二而割口米斗立也  
合納米ハ

斗立本途米江口米斗立を合  
納米高ニ成る

### 御検見之節

壹坪之粗何合毛ニ而も毛付江壹三五是を掛ケる時ハ其内之反取粗テ減を割引而五合つ  
りニして一算ニ而取米坪也

□□□ニ付何両是へ三掛る時ハ壹成代銀成るも但永ニ而出し候時ハ定右之三江六ニ而  
わり五ニなる此五掛るべし永ニ成る也

一いつれの家も男子に跡をとらせ可申候男子無之者ハ同姓より養子可致同姓ニも無之  
候ハハ外に見立可申事

一よめをとり又ハむこを取るに筋違い之儀も有之哉ニ相聞え候人たる道をはつれてよ  
ろしからつ候親類たれともいとこ同土夫婦になるハくるしからざる事

一子供多く有之ハうみたる子をまびくべからつ子をまびき候ものハ人殺しと同罪たる  
べき事

但し子をおろし候者もこれニ准ス  
右之条々堅相守るべき者也

### 覚

一御用村用等ニ付名主共非分之割合有之候哉ニ風聞も有之候右様之儀ハ向後吃度相糺  
候間不正之儀無之様相心得可申事

一商売品物を所々売込み下直ニ売可申杯と申立高利を取候族も有之哉ニ相聞右様之巧  
一切令停止事

一御役々之向江ハ輕微之品たりとも相贈リ申間敷候又役人共より金銀相談有之候共  
向々江も右様儀ハ不相成段兼而申付置き候事

一宮寺境内之木其外何れたり共壹尺以上無願ニ而伐取申間敷候事

一悪事仕出シ候者之事ニ付病中昇上ニ而何事も覚不申など、申嘆願今迄段々有之候向  
後ハ一切取上不申候万一実々之狂氣ニ而人を殺害致候共其罪ハ許難き事

一堺杭書法  
従是 葛飾県支配所

右之通被 仰付候ニ付向後願書等惣而之書物ニ葛飾県御役所又ハ葛飾県支配所何村と  
相認め可申事

一支配村々之百姓共旧幕府より苗字帯刀差免候分も一切令停止候様被 仰出候ニ付此  
段相心得相背き申間敷事



但 由緒有之向ハ書付以可申出事  
一天領之百姓たり共私領之者を軽く見申間敷事

巳二月 知県事印

前書之通被 仰渡候趣一同承知奉畏候小前一統江不洩様可申聞候依之御請印形奉差上  
候以上

巳二月四日

村々役人

寺院

神職一同調印

百姓

右御本証ニおいて請印仕候

酒井安房守上知

武州葛飾郡

清地村

一高三百四拾七石九升九合

此反別四拾町貳反壹畝拾三歩

内

高百三拾五石九斗四升四合

田拾四町貳反貳拾三歩

此取米七拾四石六斗八升貳合

高貳百拾壹石壹斗五升五合

畑貳拾五町八反貳拾歩

「此取永貳拾三貫八百八拾六文」

内高壹斗八升三合三勺

此反別壹畝貳拾四歩

「此永貳拾貳文」 (朱書)

納高貳百拾石九斗七升壹合六勺

此反別貳拾五町七反八畝貳拾五歩

此取永貳拾三貫八百六拾四文

此訳

本途

高六拾壹石三斗四升壹合

上田五町五反七畝貳拾壹歩

取米三拾三石四斗六升

高五拾七石五斗壹升九合

中田六町三反九畝三分

取米三拾壹石九斗五升三合

高拾七石七升貳合

下田貳町四反三畝貳拾九歩

取米九石貳斗六升九合

高七拾六石六斗壹升三合

上畑七町六反六畝四歩

取永八貫四拾四文五分

高五拾九石七斗八升六合四勺

中畑七町四反七畝拾歩

取永六貫七百貳拾六文

高四拾四石壹斗五升四合

下畑七町三反五畝貳拾七歩

取永五貫五百拾九文五分

高壹石六斗八升五合

下々畑四反貳畝四歩

取永百貳拾六文

高貳拾八石九斗壹升六合

屋敷貳町八反九畝五歩

内高壹斗八升三合三勺

畑壹畝貳拾五歩

盛十一

反六斗取

盛九

反五斗取

盛七

反三斗八升取

盛十

反永百五文取

盛八

反永九拾文取

盛六

反永七拾文取

盛四

反永三拾文取

盛十

郷蔵屋敷引

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

郷蔵屋敷

残高式拾八石七斗三升三合二勺

残屋敷式町八反七畝拾歩

取永三貫四百四拾八文

田合拾四町四反式拾三歩

取米七拾四石六斗八升式合

米式石壹斗三升四合

米四石式斗六升八合

米四石式斗六升八合

合米八拾五石三斗五升式合

此俵式百拾三俵壹斗五升式合

「内百拾三俵式斗九升五合

九拾九俵式斗九升九合

畑合式拾五町七反八畝式拾五歩

取永式拾三貫八百六拾四文

永七百拾五文九分式厘

合永式拾四貫五百七拾九文九分式厘

反永百式拾文取

本途

口米

延

延

上

下

本途

口永

納辻

(朱書)

三宅三郎上知

清地村新田

一高百四拾四石八斗

此反別拾六町四反八畝式歩

内

高九拾四石六斗七升六合

田反別拾町八畝歩

此取米四拾四石式斗七升五合

高四拾九石四斗四合

畑反別六町四反式歩

此取永七貫六百四拾文五分式厘

此取

高四拾石壹升六勺

上田三町六反三畝式拾式歩

此取米拾七石四斗五升九合壹勺八才

高四拾三石四升七合四勺

中田四町七反八畝九歩

此取米式拾石壹斗七升七合八勺

高拾壹石六斗壹升七合六勺

下田壹町六反五畝式拾九歩

此取米六石六斗三升八合六勺六才

高拾五石五斗壹升七合

上畑壹町五反五畝五歩

此取永式貫拾七文壹分七厘

高拾壹石四斗壹升六合

中畑壹町四反式畝式拾壹歩

此取永壹貫七百拾式文四分

高拾七石三斗八升四合

下畑式町八反九畝式拾式歩

此取永三貫百八拾七文七厘

高壹斗七合

下々畑式畝式拾歩

此取永式拾六文六分七厘

高四石九斗八升

屋敷四反九畝式拾四歩

此取永六百九拾七文式分

田合拾町八畝歩

此取米四拾四石式斗七升五合

外

米壹石式斗六升五合

米式石五斗三升

盛十一

反四斗八升取

盛九

反四斗式升壹合

八勺五才

盛七

反四斗取

盛十

反永百三十文取

盛八

反百式拾文取

盛六

反百拾文取

盛四

反百文取

盛十

反百四拾文取

本途

口米

延

米式石五斗三升

合米五拾石六斗

此米百式拾六俵式斗

畑合六町四反式步

此取永七貫六百四拾文八分壹厘

永三百五拾九文壹分九厘

合永八貫文

納辻但四斗入

本途

口永

高田劔之助上知

清地村新田

一高百四拾四石六合壹勺

此反別拾七町四反七畝八步

内

田高九拾三石四斗九升四合三勺

此反別拾壹町四畝貳拾五步

此取米四拾五石八斗五升五合

納高五拾石五斗八升五合七勺

此反別六町四反貳畝拾三歩

内

高七升三合九勺

此反別壹畝七歩

残畑六町四反壹畝

「高五拾石五斗壹升貳合

此取永七貫七百八拾八文壹分五厘

此訊

高貳拾貳石壹斗貳升八合三勺

上田貳町壹畝五歩

此取米九石七斗三升六合四勺

高三拾六石四斗九升貳合

中田四町五畝拾四歩

此取米拾七石三斗九升四合五勺

高三拾四石八斗七升四合

下田四町九反八畝六歩

此取米拾八石七斗貳升四合壹勺

高拾四石三斗六合七勺

上畑壹町四反三畝貳歩

此取永壹貫九百四拾五文七分

高拾四石貳斗四升貳合七勺

中畑壹町七反八畝壹歩

此取永壹貫九百七拾六文壹分七厘

高拾四石七斗八升六合三勺

下畑貳町四反六畝拾三歩

内

高七升三合九勺

此反別壹畝七歩

残高拾四石七斗壹升貳合四勺

残畑貳町四反五畝六歩

此取永貳貫五百五拾文八厘

高壹斗六升

下々畑四畝歩

此取永四拾文

高七石九升

屋敷畑七反貳拾七歩

田合拾壹町四畝貳拾五歩

此取米四拾五石八斗七升五合

外

米式石六斗貳升

反四斗貳升九合取

盛七

反三斗七升五合九勺取

盛十

反永百三拾六文取

盛八

反永百拾壹文取

享保度安戸沼開発二付堀敷濱地引

高七升三合九勺

此反別壹畝七歩

残高拾四石七斗壹升貳合四勺

残畑貳町四反五畝六歩

此取永貳貫五百五拾文八厘

高壹斗六升

下々畑四畝歩

此取永四拾文

高七石九升

屋敷畑七反貳拾七歩

田合拾壹町四畝貳拾五歩

此取米四拾五石八斗七升五合

外

米式石六斗貳升

此取米四拾五石八斗七升五合

米式石六斗貳升

盛九

盛十一

反四斗八升四合取

盛九

延

米壹石三斗壹升

口

米貳石六斗貳升

納合米五拾貳石四斗五合

但四斗入

此俵百三拾壹俵五合

烟合六町四反壹畝六步

此取永七貫七百八拾八文壹分五厘

永百七拾八文壹分五厘

納合永七貫九百六拾六文三分

能勢省兵衛上知

清地村新田

一高百四拾四石八升

此反別拾六町九反七畝四步

内

高九拾貳石壹斗六合

田反別拾町貳反六畝八步

此取米四拾五石五斗

高五拾貳石六升四合

烟反別六町七反貳畝六步

此取永六貫九百拾文七分

此取

高三拾貳石七斗八合九勺

上田貳町八反八畝八步

此取米拾四石四斗壹升三合貳勺壹才

高三拾八石九斗四升三合貳勺

中田四町三反貳畝貳拾壹步

此取米拾九石壹斗九升六合八勺七才

高貳拾壹石三斗九升三合九勺

盛七

下田三町五畝拾五步

反三斗八升九合三才取

此取米拾壹石八斗八升九合九勺貳才

高拾三石六斗壹升六合五勺

上烟壹町三反六畝五步

此取永壹貫五百五拾貳文貳分

高拾貳石三斗八升壹合

中烟壹町五反四畝貳拾三歩

此取永壹貫五百九拾四文

高拾七石八斗九升

下烟貳町九反八畝五分

此取永貳貫八百三拾貳文五分

高八石壹斗七升六合五勺

屋敷烟八反壹畝貳拾三歩

此取永九百三拾貳文

田合反別拾町貳反六畝八歩

此取米四拾五石五斗

外

米壹石三斗

米貳石六斗

米貳石六斗

合米五拾貳石

此俵百三拾俵

烟合六町七反貳拾六歩

此取永六貫九百拾文七分

永貳百七拾三文八分

合永七貫百八拾四文五分

右八私共村方私領中前書之通リ上納仕来リ候処相違無御座候以上

右村

明治元辰年十二月

名主 浅右衛門

盛十

反永百拾四文取

盛八

反永百三文取

盛六

反永九拾文取

盛十

反永百拾四文取

本途

口米

延

納辻

本途

口米

延

納辻

本途

口米

延

納辻

本途

口米

盛九

反四斗四升四合取

盛十一

反五斗取

盛七

酒井分

御定免切替願乍恐以書付奉願上候

外  
村役人名前之儀ハ銘々耆人ツツ別帳ニ認差上候

無年季定免

御水帳面式年寄

酒井安房守上知  
武州葛飾郡清地村

一上田拾四町壹反貳拾六步

当已より寅迄拾ケ年定免願  
一高三百四拾七石九升九合

分米百五拾五石壹斗九升五合三勺

此反別四拾町貳反壹畝拾三歩

一中田拾九町五反五畝七歩

此訊

分米百七拾五石九斗七升壹合

田高百三拾五石九斗四升四合

一下田拾貳町壹反三畝貳拾三歩

此反別拾四町四反貳拾三歩

分米八拾四石九斗六升四合

此取米七拾石三斗五升九合壹勺

田合四拾五町七反九畝貳拾六歩

米四石三斗貳升三勺

壹反二付三升増被仰付候分

一上畑拾貳町拾六歩

都合

分米百貳拾石五升三合

米七拾四石六斗八升貳合

本途

一中畑拾貳町貳反貳畝貳拾五歩

内

分米九拾七石八斗貳升七合

米四斗

名主給分下米

一下畑拾五町七反七歩

引米七拾四石貳斗八升貳合

分米九拾四石貳斗壹升四合

外貳合増

一下々畑四反八畝貳拾四歩

一畑高貳百拾七石壹斗五升五合

分米壹石九斗五升貳合

此反別貳拾五町八反貳拾四歩

一屋敷四町九反壹畝拾貳歩

内

分米四拾九石壹斗六升三合

壹畝貳拾五歩

郷御蔵屋敷引

畑屋敷合四拾五町三反四畝壹歩

高壹斗八升三合三勺引

分米三百六拾三石貳斗九合

殘高貳百拾石九斗七合壹勺七才

但堀敷潰地畑方引

此反別貳拾五町七反八畝貳拾五歩

田畑屋敷都合九拾壹町壹反三畝貳拾七歩

此取永貳拾三貫八百六拾四文

高都合七百七拾九石三斗三升九合

無年季定免

三宅三郎上知

同村

当已より寅迄拾ケ年定免願

一高百四拾四石八升

此反別拾六町四反八畝式步

此取

田高九拾四石六斗七升六合

此反別拾町八畝步

此取米四拾四石式斗七升五合

内

米七斗

米三斗五升

引米四拾三石式斗五升

外二

壹合増

畑高四拾九石四斗四合

此反別六町四反式步

此取永八貫文

無年季定免

高田鋸三郎上知

同村新田

当已より寅迄拾ケ年定免願

一高百四拾四石六合壹勺

此反別拾七町四反七畝八步

此取

田高九拾三石四斗九升四合三勺

此反別拾壹町四畝式拾五步

此取米四拾五石八斗五升五合

本途

内

米壹石五升

米三斗五升五合

引米四拾四石壹斗式升五合

外二

壹合増

畑高五拾石五斗壹合八勺

此反別六町四反式畝拾三歩

此取永七貫九百六拾六文三分

無年季定免

能勢省兵衛上知

同村新田

当已より寅迄拾ケ年定免願

一高百四拾四石八升

此反別拾六町九反七畝四歩

此取

田高九拾石壹升六合

此反別拾町式反六畝八歩

此取米四拾五石五斗

内

米壹石

米三斗七升五合

引米四拾四石壹斗式升五合

外二

壹合増

畑高五拾石六升四合

此反別六町七反式拾六歩

本途

禄米二名主給被下分

同断人足扶持被下分

御上納辻

此取永七貫百八拾貳文

右村役人左之者共奉申上候今般御定免格別増米いたし可願出旨被仰触之趣奉畏候得共  
当村之儀ハ至而低場ニ而聊之降雨ニも悪水相堪年毎水損難遁極難村ニ御座候処去辰年  
之儀古来未曾有之水損ニ而既ニ御定免難保破免御検見入奉願上候様之仕合ニ而窮民共  
当日夫喰ニ差支居候次第ニ付増米難成儀兼而被仰触之御趣意小前江申渡之乍難洪前書  
之通増米いたし候間何卒以  
御慈悲前頭極難之場合  
御憐察書面増米辻ヲ以当巳より来々寅迄拾ヶ年定免被仰付被成下置度奉願上候以上

願人惣代

巳二月十二日

右村

百姓代 市兵衛

組頭 淳一

名主 七兵衛

〃 浅右衛門

葛飾県

御役所

乍恐以書付奉嘆願候

酒井安房守上知

武州葛飾郡

清地村

一高三百四拾七石九升九合

此反別四拾町貳反壹畝拾三歩

内訳

田高百三拾五石九斗四升四合

此反別拾四町四反貳拾三歩

此取米七拾四石六斗八升貳合

畑高貳百拾壹石壹斗五升五合

此反別貳拾五町八反貳拾歩

本途

此取永貳拾三貫八百六拾四文

本途

右小前役人惣代左之者共奉申上候当村之儀ハ往古元禄十一寅年迄御代官伊奈半左衛門  
様御支配ニ有之候処同年中元地頭酒井日向守様江私領渡相成候得共收納辻之儀ハ元御  
代官之節同様上納仕来候儀ニ御座候然ル処其後宝曆二申年中地頭日向守役金ニ差支知  
行村々江用金調達方被申付候得共其砌も当節同様村々極窮ニ而調達も難尽無余儀金主  
相願收納高書入金子繰出し候積評替いたし候処收納辻不変ニ而ハ右金繰出し不相成ニ  
付知行村々一般田反別上中下平均反米三升宛増米被申付知行村々ニおいても難洪ニハ  
候得共地頭役金之儀ニ付差支相成候而ハ不相濟儀ニ而村々一同意得いたし乍難洪地頭  
辺筋之儀より相弁前書反米三升増ニ而上納仕来候尤右次第成ニ付地頭ニおいても知行  
村々江夫々憐愍被差加是迄年々豊凶ニ不拘田方納辻格別引方被申付儀ニ而実以ケ間敷  
増米難洪之趣是迄地頭方追々相願候得共地頭之儀も勝手不如意ニ付窮民難洪乍不及憐  
愍差加ヘ方行届兼而旨被申聞無段儀上納致来り候儀ニ付困窮弥々増其上近來遺作之処  
中ニも去辰年之儀ハ未曾有之水損既に御定免難保破免御検見入奉願上候弥々極難年ニ  
付実以御年貢御上納ハ勿論当日夫喰方ニも差支居候仕合此旨收納是迄通上納仕候様ニ  
而ハ弥々窮迫ニ陥リ難洪当惑仕候間今般 王政御一新ニ付而ハ前書之増米御免除之御  
沙汰奉願度宝曆度並元禄度割付式通相添此段奉嘆願候間何卒格別之以  
御慈悲元地頭ニ而融通之当免増米仕候分引続多分之收納仕来候場合  
御憐察被成候元御代官伊奈半左衛門様御割付通り田方上納辻御取極被  
成下置極窮之村方不変立直り直ニも永統相成候様幾重ニも  
御憐好之御沙汰奉而奉嘆願候以上

右村

百姓代 市兵衛

組頭 淳一

名主 七兵衛

〃 浅右衛門

明治二巳年二月十二日

葛飾県

御役所

右願書二月十二日奉差上候処追而御沙汰之旨被仰聞翌十三日帰宅致候

(朱書)

上下御検見内覚帳之儀

策内西

上田寄 三畝六歩有之二付 但□□□□□□

下組入会□□之分二而引

下田式反五畝拾三歩有之二付

同組平右衛門持分二而八右衛門前之内

東耕地

下田老反八畝之内

内老反式畝五歩引

残五畝式拾五歩出候

明治四未年五月中調より

但 □□□□□ニハ不相成調□前々ニ付□□□□□□□□□□

○ 南側用水路藻刈之分当村持丁場堤根村大六天神前橋下より本郷村□や筋向川橋迄

一 長六百五拾八間老尺

内 清地村

百七拾六間三尺五寸 上

百拾六間三尺三寸 下

百式拾老間四尺老寸四分 三

〃 〃 九

〃 〃 九

右天保十一子年四月改

南側策口分水組合高

此度三本木地内□北江堰老ヶ所

下郷四ヶ村合高千五百六拾六石老斗老升

内

一高五百八拾石六斗五升二合

一高六百式拾五石四斗四升

一高百式拾五石六斗八升六合

一高式百三拾石六斗式升五合

策口分水組合高

一高八拾五石三斗

一高五百七拾式石八斗式升四合六勺

一高六拾老石八斗四升五合九勺

一高三百七拾七石八斗四升老合七勺

〃 千九拾七石八斗老升式合五勺五才

右〃高式千六百六拾三石八斗式升八合五勺

明治三午年六月二十三日右村々万福寺へ参集立会之上取究申候村々右前書議定帳ニ有

之候

慶応二丑年七月七日

御進発ニ付殿様御供被仰付御迎ニ上坂いたし落下□□一同京落中ニ参詣之砌北野天満宮脇之方江向而右之方ニ虎張屋と申料理茶屋江休ミ候処床ニ掛ケ候表具ニ有之候

仁過礼ハ独而ニ那る

義過礼ハかたく那る

清地村

堤根村

才羽村

並塚村

本郷村

小淵村

不動院野村

八丁目村



伺置也

おわりに

諸鏡につづいて懐中鏡の解説を試みました。

はじめは手書きで、二度目はワープロを使い横書きで入力しました。

三度目は、諸鏡もそうであったが、縦書きが原書に近いので懐中鏡もそれになりました。

三度も原書を読んだので、今まで読めなかった文字が大分読めるようになりました。

おかげで原書に近づいたようだが、誤読も多々あるように思われる。それは今後の課題として勉強し原書に近づきたいと思っています。

原書の虫喰いや難解な箇所は□で示しました。

平成元年十二月吉日

深井滋男

### 酒造役之事

一酒造役之法ハ桶之上バロト底之長ヲ十二シソレヲ掛ケ合セ圓法七九掛ケソレイ深ノ長ヲカケテ六四八二七ニ而割テ知ル

但

上口何寸切トイウ時深ノ内ハ切丈コノ切ハ内バニ仕込タル也

改

上バト□ノ尺ヲ合セ半ニして夫ヲ掛ケ合セ圓法七九ヲ乘し深ノ長ヲカケテ升法

六四八二七ニ而割

御料所御本途村法

本途米江五七式掛ケテ延米也

夫江本途米合セテ斗立也

口米ハ本途米江三〇二壺ヲ掛ケテ斗立米之是を本途斗立ニ合セ納辻

午十二月八日鈴木氏一同二代リ